

令和 7 年度

## 第5次総合振興計画事務事業評価シート(様式1)

1 事業概要					提出日 R7.6.19	
(1)事業名 環境改善推進事業費					担当 環境農林課	
(4)第5次総合振興計画での位置づけ					グループ名 環境保全グループ	
(1)基本目標 安全で住みよいまち〈都市基盤の充実〉					記入者名	
(2)大項目 河川・水辺の整備					(2)事業種別 (新規・継続) 継続	
(3)中項目 水辺環境の保全					(3)事業性格 (政策・一般) 一般事業	
(4)施策 清掃活動の充実					(5)予算・財源等の別	
(5)施策コード 3.6.2.1 掲載ページ 60 ページ					(1)会計区分 一般会計	
(6)実施根拠					(2)財源区分 県補助	
(1)事務分類(自治・法定受託) 自治事務					(3)予算科目 款 4 項 1 目 4	
(2)根拠法令・条例等 環境基本計画					(4)予算事業名 環境改善推進事業費	
(3)事業期間 開始 不明 年 月 日から					(7)総合戦略	
					(1)総合戦略 木質バイオマス利活用促進	
					(該当事業名) 業務委託料	
					終了 未定 年 月 まで	
2 事業の目的・内容等						
(1)目的(何のために行うか)				(2)内容(どのような取り組みか)		
環境を保全していくために大切なことは、住民意識の啓発であることから、あらゆる機会を通じて環境に対する意識の醸成を図る。				住民参加による具体的な活動が重要であることから、河川清掃や地域の清掃作業など、身近な場所から生活環境の保全整備に努める働きかけを行う。		
(3)対象(誰に対して、何に対して行うか)				(4)成果イメージ(どのような状態になることを目指すか)		
全町民				良好な居住環境、自然環境が保全・創造される住民自らの運動が重要であり、環境保全思想の普及を図るとともに、住民主体の環境美化運動を積極的に支援する。		
対象数	27,290	単位	人			
(5)事業を取り巻く環境(社会環境や町民ニーズ等)						
河川などの水辺環境を保全するため、全行政区を対象とする清掃活動を継続的に実施することにより、環境美化に対する意識の向上や清流の回復が期待される。また、森林及び木質バイオマスの活用についても期待されている。						
(6)SDGsへの貢献						
   						
3 事業のコスト(実績・決算・予算) (単位:千円)						
(1)事業(内容) 項目 名称		環境改善推進事業費				
決算・予算年度		R3年度決算	R4年度決算	R5年度決算	実施年度(R6年度)決算	今年度(R7年度)当初予算
(2)事業費内訳	報酬	0	0	0	0	0
	報償費	2,046	2,028	1,980	1,949	2,012
	需用費	227	359	455	342	353
	役務費	0	0	0	0	0
	委託料	2,330	2,647	3,214	2,466	2,717
	その他	11,429	16,863	21,640	18,875	18,653
直接事業費合計		16,032	21,897	27,289	23,632	23,735
(3)財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0
	県支出金	881	1,078	1,263	1,312	1,127
	地方債	0	0	0	0	0
	その他特定財源	1,500	1,500	0	0	0
	一般財源	13,651	19,319	26,026	22,320	22,608
	合計	16,032	21,897	27,289	23,632	23,735
(4)補助金名		埼玉県環境整備センター事業推進地元対策費交付金 アライグマ個体分析調査業務委託金				
(5)人件費						
投入職員数		1.2	1.2	1.2	1.2	1.2
年間人件費		9,154	9,050	9,025	9,326	9,638
(6)総事業費		25,186	30,947	36,314	32,958	33,373
サービス量(人)		28,494	28,046	27,774	27,290	27,290
サービス単価		0.9	1.1	1.3	1.2	1.2
(単位)		千円/支援1人あたり				

4 指標の検証				環境改善推進事業費		
指標名			単位	R5年度決算	実施年度(R6年度)決算	今年度(R7年度)予算積算
(1)活動指標(実施した事業の量)						
指標名	河川清掃実施行政区(地区数)	目標値	地区	70	70	70
		実績値	地区	68	68	
		達成率	%	97.1	97.1	
		目標値				
		実績値				
達成率						
(2)成果指標(実施した結果として得られた成果の量と達成度)						
指標名	河川水質の環境基準類型A(BODの年間平均値2.0mg/l以下)達成箇所の割合	目標値	%	88.9	88.9	88.9
		実績値	%	97.2	88.9	
		達成率	%	109.3	100.0	
	河川清掃参加者数(総振目標指標p60) R7年度目標値 5,500人	目標値	人	5,500	5,500	5,500
		実績値	人	4,783	4,700	
達成率		%	87.0	85.5		
(3)その他指標に現れない成果						
5 事業評価						
(1)項目別評価						
評価項目		評価		評価理由	評価した理由を選択してください。	
必要性	事業の必要性	1	1 必要性は高い 2 どちらともいえない 3 必要性が低い	1	1 事業の実施が関係法令等で定められている	
					2 住民や団体など外部から要望・要請が多い事業である	
					3 その他( )	
妥当性	実施主体の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	1 事業の主体が関係法令等で定められている	
	2 民間では事業を行っておらず、行政が主体となるべき事業である					
	手段の妥当性	1	1 妥当である 2 どちらともいえない 3 妥当性が低い	1	3 その他( )	
					1 事業を行うのに民間活力(企業、NPO、ボランティアなど)を活用している	
					2 他に有効な代替手段が見当たらない	
					3 その他( )	
効率性	コスト効率性 人員の効率性	1	1 効率的である 2 どちらともいえない 3 効率性が低い	2	1 サービス単価は減少している	
					2 サービス単価を維持している	
					3 その他( )	
公平性	受益者の偏り	1	1 偏りはない 2 どちらともいえない 3 偏りがある	2	1 公平に分配されている	
					2 おおむね公平に分配されている	
					3 その他( )	
有効性	成果の向上	2	1 成果が上がっている 2 どちらともいえない 3 成果が下がっている	3	1 成果指標は、目標値より実績値が上回っている	
					2 成果指標は、前年度より向上している	
					3 その他(令和6年度もウグイスの放流事業を中止したが、地域の環境保全事業には一定の成果があると考え。)	
進捗度	事業の進捗	2	1 順調に進んでいる 2 概ね順調である 3 あまり順調に進んでいない	2	1 年度内に予定した事業は完了した	
					2 年度内に予定した事業の8割以上は完了した	
					3 その他( )	
(2)総合評価(上記結果を踏まえて、今後の課題と対応を記載してください。)						
<p>河川などの水辺環境を保全するために、全行政区を対象とする清掃活動を継続的に実施することにより、環境美化に対する意識の向上や清流の回復が期待される。また、「河川清掃」を定期的に継続することにより、身近な場所から生活環境の保全に対する意識の醸成が図られる。</p> <p>地域の少子高齢化の状況や河川の整備状況を踏まえながら実施場所、方法などについて検討が必要と思われる。</p>						
6 事業の方向性の判断				1 拡充 2 現状維持 3 縮小・統廃合		
評価主体	評価	評価についての説明				
(1)一次評価 (担当課長)	2 現状維持	河川清掃は、年中行事として定着しており、継続することが重要である。				
(2)二次評価 (政策推進課長)						
(3)最終評価 (町長)						